

発表会・演奏会の動画撮影を 業者に依頼するときの簡単マニュアル

学校の部活の演奏会、ピアノやバレエ、ダンスの発表会、市民サークルの公演など、「プロに動画撮影を頼みたいけれど、業者の選び方も、依頼から納品までの流れも分からず不安」という方のためのガイドです。皆様が納得のいく撮影・映像づくりをするための一助になれば幸いです。

Right And Left

目次

- 1 業者の選び方
 - 2 見積もりを取ろう
 - 3 依頼後の打ち合わせ
 - 4 支払いのタイミング
 - 5 キャンセル・延期になったら
 - 6 当日の流れ、主催側がやること
 - 7 編集と修正依頼のコツ
 - 8 納品について
 - 9 DVD・Blu-rayのディスクコピーも頼む場合
- 付録 準備チェックリスト

1 業者の選び方

撮影業者は正直ピンキリです。価格が高ければ良いというわけではなく、高い業者でも昔ながらの画質の映像しか撮れないことがあります。かといって安すぎる業者は、やはり質が伴わないことが多い印象です。相場から大きく外れない「高すぎず安すぎず」の業者から選ぶのが無難だと思います。

とはいえ、実際に頼んでみないと分からない部分もあるのが悩ましいところ。だからこそ、選定段階でしっかり見極めて、信頼できそうなところを探すことが大事になってきます。まずは次の3点で絞り込んでいきましょう。

1. **撮影実績の動画を見る** — 業者のサイトやYouTubeで実績動画を確認し、画質・音質・カメラワークが自分たちのイメージに合うかを必ずチェック。
2. **見積もりを取って予算と照らす** — 気になる業者には遠慮なく見積もりを依頼（次章参照）。

3. **やり取りの丁寧さを見る** — 返信の速さ、質問への回答の的確さ、説明の分かりやすさ。見積もり段階のやり取りがしっかりしている業者は、当日の対応も安心できることが多いです。

なお、YouTubeの動画は、ネット回線の状況によって自動的に解像度の低い画質で再生されてしまうことがあります。「画質が荒いな」と感じたら、業者の映像そのものではなく再生設定が原因かもしれません。一度YouTubeの画質設定を確認してみましょう。

2 見積もりを取ろう

気になった業者には見積もりをお願いしましょう。その際、なるべく詳細を伝えるのがポイントです。まだ確定していなければ、おおよその予定で構いません。

依頼のタイミング

発表会・演奏会が集中する**繁忙期（3月・12月など）は、3～4か月前まで**のご依頼が安心です。それ以外の時期でも、日程と会場が決まった段階で早めに相談を始めましょう。直前でも空きがあれば対応してもらえますが、選べる業者の幅は確実に狭まります。

伝えるべき基本情報

- 日付
- 場所（会場名）
- 本番の時間（収録時間）
- 当日のリハーサルの時間
- 関係者用駐車場の有無
- 特別な演出や要望などがあればそれらも

編集オプションの希望

オープニング・エンディング映像の追加、演目名のテロップ入れなど、通常のカット編集に加えて映像を彩るカスタマイズをオプションで用意している業者が多くあります。業者のホームページの案内を読み、希望があれば見積もり時に伝えましょう。

参考動画があれば共有を

「こんな風にしてほしい」というイメージに近い動画があれば、そのリンクを共有すると、業者側がイメージを掴みやすくなり、仕上がりのミスマッチを防げます。

見積もりを取ってもまだ決めかねる場合は、一度電話やオンラインミーティングで、その業者にいろいろと聞いてみるのもおすすめです。そのときの対応や返答から、見えてくこともあります。

3 依頼後の打ち合わせ

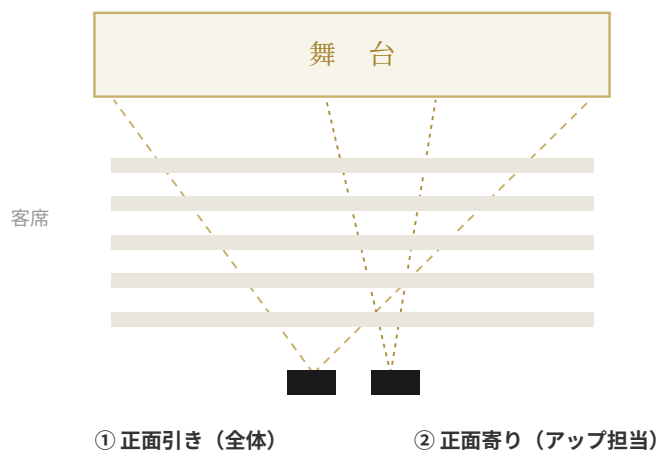
見積もりを取り、依頼を決めたら、電話やオンラインミーティングで打ち合わせをしましょう。その際に話しておきたいのは主に「プログラムの時間（当日の流れ）」、「カメラの配置（画角）」、「どのように映してほしいか（寄りのカメラはどれくらい寄ってほしいか等）」、それから「音」についてです。

プログラム表（タイムテーブル）を共有する

当日の時間割やパンフレットのデータがあれば共有しましょう。打ち合わせより前にメールで送っておくとスムーズです。本番の時間割だけでなく、開演前後の流れも分かる資料だと、なお話が早いです。まだ完成していなければ、出来次第の共有で大丈夫です。

カメラの画角の基本

基本となるのは「正面引き」と「正面寄り」の2つです。この2つを基本として、必要に応じて他の画角を足していく形をおすすめします。希望の画角があれば業者に伝え、実際に使う会場でそれが可能かどうか、意見を聞いてみましょう。特に希望がなければ、おすすめの画角を聞いてみるのも良いです。



基本の2カメ配置のイメージ。①で全体を押さえ、②が演者に寄る。

なお、「カメラは1台だけで、寄りも引きも撮ってほしい」という依頼は、あまりおすすめしません。カメラが1台だと、操作時のブレなどがあってもその映像をそのまま使わざるを得ず、乱れた映像になる可能性があるからです。

もちろん、ずっと引きのままで良い場合など、画角を動かす必要がなければカメラ1台でも問題ないことが多いので、迷ったら業者に相談してみましょう。

カメラの配置は指定席の設定より先に決める

指定席制にする場合、**チケットを販売してからだとカメラの配置に大きな制限が出ます**。カメラの配置を決めてから指定席を設定するのがおすすめです。

会場への撮影許可と座席の確保

会場によっては、業者による撮影の事前申請が必要です。会場の予約時や打ち合わせの際に、撮影が入る旨を伝えておきましょう。客席内にカメラを設置する場合は、**その席と周辺の席を販売しない（座席を潰す）手配**も忘れずに。また、三脚の設置場所や電源使用の可否は会場ごとにルールが異なるため、あわせて確認しておくとう安心です。

音声の収録について

会場の3点吊りマイクやMCマイクの音をライン録音してほしい場合は、**会場の音響担当と業者が直接やり取りするのが一番スムーズ**です。任せてしまいましょう。会場担当者の連絡先が分かっているれば、業者に共有しておく話が早いです。

3点吊りマイクを使用する場合は、会場側に利用料を支払うのが一般的です。利用する旨を会場側に伝えておきましょう。利用料は会場ごとに異なりますが、原則として主催側の負担が普通です。

駐車場について

- ・関係者用駐車場を用意する場合、枠の指定や車両ナンバーの事前登録が必要なことがあります。会場に確認のうえ、業者に共有しましょう。
- ・駐車場の場所や入り方が分かりづらい会場では、会場から簡易地図がもらえるならそれも共有するとスムーズです。
- ・会場に駐車場がない場合、業者はコインパーキングを利用します。駐車料金が見積もりに含まれるか、別途請求かは業者によるので確認しておきましょう。

入り時間と搬入経路の確認

業者の会場入りの時間と、機材の搬入経路・搬入口を事前に会場と業者の間で確認しておきましょう。搬入経路は必ずしも舞台搬入口である必要はありません。業者は、カメラの設置場所まで段差なくスムーズに運べる経路を優先して選びます。

変更・追加はすぐに相談を

見積もりのあとに追加の希望や大きな内容の変更が出た場合は、すぐに伝えて相談してください。特にカメラ台数の変更や収録時間の延長などは、直前に言われても対応できないことがあります。

そのほか、業者から何か協力を頼まれたら、可能な範囲で応えてあげましょう。良い映像づくりは主催側と業者の共同作業です。

4 支払いのタイミング

支払いの設定は業者によって異なります。前払いのところもあれば、後払いのところもあります。

ただし、個人での依頼の場合は、未払いなどのトラブル回避のため、**前払い、または着手金を事前に払う形が多い**です。見積もり時に支払い条件を確認しておきましょう。

5 キャンセル・延期になったら

学校行事や発表会は、感染症の流行や天災などで延期・中止になることもあります。以下を事前に確認しておく
と安心です。

- **キャンセル料の発生タイミング** — 何日前からキャンセル料がかかるか、割合はいくらか。業者によって設定が異なります。
- **延期の場合の扱い** — 中止ではなく日程変更の場合、業者のスケジュールが空いていれば振替対応してもらえることが多いです。延期の可能性が出てきた時点で早めに相談しましょう。

6 当日の流れ、主催側がやること

当日は、本番前のリハーサル中、あるいはリハーサル前に業者が現場入りします。カメラのセッティングが終わったあとに画角の確認をさせてくれる業者がほとんどですので、余裕があれば、どのような画角で撮るのか確認しておく、イメージの食い違いをさらに減らせます。

あとは業者に任せておけば基本的に大丈夫ですが、下記のようなことを主催側でやっておくといろいろとスムーズです。

- **開演前のアナウンス** — 「本日は記録用の撮影が入っております」という周知と、客席からのフラッシュ撮影の禁止（映像にフラッシュが映り込みます）、演目中の席の移動を控えていただくお願い（こちらも映像に映り込みます）。
- **カメラ周辺のエリアキープ** — 業者から指定された席にビニールテープを貼るなどして、他のお客様が入れないようにしておきましょう。ごくまれに、暗い会場内を移動するお客様が、気づかずにカメラの前に来てしまうことがあります。そうした映り込みを防ぐためにも、しっかりとエリアを確保しておいてください。
- **必要があれば細かな予定の共有** — 特に終演後の様子も撮ってほしい場合は、終演後の演者の流れなども伝えておくといいです。
- **プログラム変更の連絡** — 当日に演目の順番変更などがあった場合は、必ず業者にも伝えましょう。
- **映像の販売・配布の周知** — 完成した映像を販売・配布する予定がある場合は、出演者（未成年の場合は保護者）へ事前に知らせ、了承を得ておきましょう。

7 編集と修正依頼のコツ

納品前に確認用の映像が届いたら、修正を希望する箇所は「**何分何秒あたり**」と**分数で場所を伝え、なるべく詳しく分かりやすく**伝えましょう。「〇分〇秒、テロップの演目名の誤字」のように具体的に伝えることで、精度の高い修正が可能になります。

なお、修正の回数や範囲（色味の調整、カットの差し替えなど）に制限がある業者もあるので、気になる場合は事前に確認しておきましょう。

ちなみに当店 Right And Left では、無料での修正対応は原則2回までとしています（一回の修正量に上限はございません。また、当方の作成ミスによる誤字脱字等の修正は、回数を問わず無償で対応いたします）。

8 納品について

- **納品形式** — 近年はデータ納品（ファイル転送サービスやUSBメモリでの受け渡し）が主流ですが、ディスク納品にも対応している業者が多いです。希望の形式を事前に伝えましょう。
- **納期の目安** — 編集内容や時期にもよりますが、データ納品であれば撮影から1か月前後が一般的です。ディスク納品もお願いする場合は、さらに約1か月ほど納期を見ておきましょう。卒業式前など「この日までに必要」という締切がある場合は、必ず見積もり時に伝えましょう。
- **データの保管** — 納品されたデータは、必ずバックアップを取って複数の場所に保管しましょう。業者側のデータ保管期間は限られていることが多く、後から再納品を頼めない場合があります。

9 DVD・Blu-rayのディスクコピーも頼む場合

- **盤面・ジャケットのデザイン** — テンプレートを使うか、自作データを入稿するかの二択が基本です。テンプレート利用や完全自作の場合は追加料金がかからないことが多いですが、オリジナルのデザイン制作を業者に頼む場合は、その制作工数によって追加料金がかかります。
- **コピー枚数** — 最低枚数の設定がある業者とない業者があります。最終的な枚数を決めるタイミングは融通が利くところが多く、公演後、出演者に希望を取ってから決めても間に合うことがほとんどです。ただし、業者によっては早めに確定してほしい場合もあるので、確認しておきましょう。
- **著作権の確認** — 市販の楽曲を使用した公演をディスクにして配布・販売する場合、著作権の手続き（JASRAC等への申請）が必要になることがあります。判断に迷ったら、業者や会場に確認してみましょう。

撮影のみの素材納品と、編集した完成映像の違い

撮影のみ・素材納品では、原則としてカメラで記録した素材を編集せずにお渡しします。編集・色調整・音の調整は含まれません。

編集した完成映像は、撮影した映像をつなぎ、色や音などを調整して仕上げたものです。Right And Leftのパックには、マルチカメラ編集・色調整・ライン録音・基本的な音量調整が含まれます。

希望する納品内容は、見積もり時に伝えておきましょう。

付録 準備チェックリスト

本編の内容を1枚にまとめました。印刷して、委員会・係の皆さままでご活用ください。

見積もり時に伝えること

- ☐ 日付・会場名
- ☐ 本番の時間（収録時間）とリハーサルの時間
- ☐ 関係者用駐車場の有無
- ☐ 特別な演出・要望
- ☐ 編集オプションの希望（演目テロップ、オープニング映像など）
- ☐ 参考動画のリンク
- ☐ 素材納品か編集込みか、納品形式と「この日までに必要」という締切
- ☐ ディスクコピーの希望（枚数は概算でOK）

※ 繁忙期（3月・12月など）は3～4か月前までの相談が安心です。

依頼後～前日までにやること

- ☐ プログラム表（タイムテーブル）を業者に共有した
- ☐ カメラ配置を相談した（指定席の販売より先に）
- ☐ 会場に撮影の申請をした / カメラ席・周辺席を確保した
- ☐ ライン録音する場合、会場音響担当の連絡先を業者に共有した
- ☐ 3点吊りマイクの利用を会場に伝えた（利用料は主催側負担が一般的）
- ☐ 駐車場の枠・車両ナンバー登録・搬入経路を確認した
- ☐ 映像を販売・配布する場合、出演者（保護者）に周知した
- ☐ 内容の変更・追加が出たら、すぐ業者に相談した

当日にやること

- ☐ 開演前アナウンス（撮影の周知・フラッシュ撮影の禁止・演目中の移動を控えるお願い）
- ☐ カメラ周辺のエリアキープ（テープ等で席を確保）
- ☐ 終演後も撮る場合、演者の流れを業者に共有
- ☐ プログラム変更があれば、すぐ業者に連絡

お わ り に

初めての撮影依頼は分からないことだらけで当然です。

良い業者は、こちらの不安や疑問に丁寧に答えてくれます。

遠慮せず、どんどん質問しながら進めてください。

簡易的ではありますが、このマニュアルが、

皆さまの大切な一日を美しい映像として残すお手伝いになれば幸いです。

R i g h t A n d L e f t

映像制作の Right And Left では、発表会・演奏会・公演の撮影を4K高画質で承っています。

（東京・神奈川・埼玉・千葉を中心に対応）ご相談だけでもお気軽にどうぞ。

<https://right-and-left.com>

TEL：080-5009-6873 MAIL：saito@right-and-left.com